

現地協力病院（チョーライ病院） 医療ICTシステム導入状況(1/2)

（２）病院全体の現状分析

施設見学及びヒアリング調査により、病院のICTシステム導入状況、フィルム・レポートの管理状況等を把握した。その結果、以下の点等が明らかになった。

【病院全体について】

- A) 外来と入院でそれぞれ別の病院システム（ベトナムローカルベンダー開発の HIS ）が導入されており、それぞれのシステム連携は存在しない。
- B) 外来患者と入院患者は別々のシステムで患者 ID が発番されており、それぞれのID 紐付がシステム上ではなされていない。
- C) 外来患者については、フィルムやレポート等の検査結果は、最終的に患者に手渡しされ、病院に保管されていない。
- D) 入院患者については、カルテや フィルム 等の Medical Record はカルテ倉庫に現物保管されている（法律上、病院の保管義務があるため）。

現地協力病院（チョーライ病院） 医療ICTシステム導入状況(2/2)

（3）放射線科部門のワークフロー分析

施設見学及びヒアリング調査により、放射線科のワークフロー分析を行った。放射線科のワークフローは「受付」→「撮影」→「フィルム出力」→「読影」→「患者渡し」の順にあるが、各工程について調査を実施した結果、以下の点等が明らかになった。

【放射線科部門について】

- A) 1 階（ Ground floor ）は入院患者の一般撮影、 CT/MR 検査、 2 階（ 1st floor ）は外来患者の一般撮影。それぞれに受付、検査室、読影室がある。
- B) 病院システム HIS からのオーダーリング等のシステム連携はされていない。 RIS は存在しない。
- C) フィルム 読影 レポートについて、入院患者は病院にて保管、外来患者は患者に手渡しされる。外来患者は病院に保管されていない。
- D) CT MR 用には mini PACS が存在しており、読影には使用されているが、全てフィルム出力をしている。画像データは上書きで削除されていく。
- E) 一般撮影は全てフィルム読影されている。
- F) 読影レポートは KVS 社レポートシステム、MS Access 等にて入力 印刷 手書き 署名フィルムジャケット同封 患者渡し、という流れ。外来患者については、放射線科レポートも原本保管はされていない。